

令和3年度 埼玉県NPO活動サポート事業
特定分野事業ネーミング枠
(損保ジャパン代理店 J S A 中核会防災・地域安全支援事業)

助成事業

防災カフェ事業

助成団体

特定非営利活動法人
わが街さやまの防災ネットワーク

事業内容

コロナ禍のため、カフェを中止せざるを得なくなり人数を制限するなど入念な感染防止対策を講じた上、講演会形式で3回開催した。
講師も6人招聘し多様な角度からの防災啓発を行った。

企画 特定非営利活動法人 わが街さやまの防災ネットワーク

防災カフェ開催します！

11月7日（日）

午後3時半～

会場：狭山市入曽地域交流センター 定員：40名
(Tel:04-2959-3004)

名言喫茶で癒しのひとときを論語に学ぶ、
混沌の今の楽しみ方



打越竜也氏

東京家政大学
地域連携推進センター講師

打越先生は中国思想の講座を埼玉県では
10ヶ所以上で講義しています。

2500年以上前の中国で生きた孔子と弟子の
言行録を著した『論語』は、我々の学びの心に
響き、人生100年時代に一層の活力を与えてく
れます。声に出して読み、初学者にも丁寧に楽
しく解説していただきます。

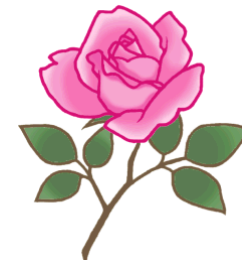
この機会に論語の名言に酔いしれましょう。

新型コロナウイルス感染対策

当日、皆様に安心して参加していただけるよう
以下の対策を徹底してまいります。

- ・アルコール消毒液の設置
- ・会場内備品の消毒
- ・換気と広めの席配置
- ・参加者、会場スタッフの検温とマスクの着用

この事業は、埼玉県NPO基金
(損保ジャパン代理店JSA中
核会の防災・地域安全支援事
業)の助成を受けて開催いたし
ます。



企画

特定非営利活動法人 わが街さやまの防災ネットワーク

防災カフェ 開催します！

日時：12月11日（土） 会場：中央公民館 第1ホール 定員：25名
午後2時～ (Tel:04-2952-2230)



小山周三氏

さやま市民大学学長
西武文理大学名誉教授

防災とホスピタリティ

～緊急時に役立つホスピタリティを考える～

「さやま防災カフェ」は住民による「自主防災活動」の先駆け、Cafeは「居心地の良さ」が不可欠。

防災インフラは

①ハード（防災工事）②ソフト（避難所）③ハート（緊急時の人間関係）

「災害時に必要なホスピタリティとは何か」を考えておく。安心、快適な避難所づくりを、ホスピタリティの視点から考える。

ホスピタリティの基本の基本！

あいさつ

笑顔

親切

ありがとう



大河原基行氏

狭山市消防団
第1分団分団長

災害発生時の消防団活動と コロナ禍における災害への備え

～コロナも災害も日頃からの備えが大切です～

狭山市消防団第1分団分団長として、災害時に活動した経験を振り返り、「いのちを守るため」そして「感染拡大を防ぐため」に必要なことはなにか考える。

新型コロナウイルス感染対策

この事業は、埼玉県NPO基金（損保ジャパン代理店）JSA中核会の防災・地域安全支援事業）の助成を受けて開催いたします。

当日、皆様に安心して参加していただけるよう以下の対策を徹底してまいります。

- ・アルコール消毒液の設置
- ・会場内備品の消毒
- ・換気と広めの席配置
- ・参加者、会場スタッフの検温とマスクの着用



企画

特定非営利活動法人 わが街さやまの防災ネットワーク

防災カフェ 開催します！

日時：令和4年 1月16日（日）
午後 2時～

会場：中央公民館 第1ホール
(Tel:04-2952-2230)

定員：25名



伊藤 彰 氏

防災士
さやま水防検討会

さあ豪雨災害

混沌の中 あなたはどう避難する

2022年改訂されるハザードマップについて
狭山市の想定最大規模降雨とは？
見逃してはいけない気象情報とは？

ご近所と楽しく水防街歩きのおすすめ

被災地支援経験者講話

小川輝雄 氏

平成16年迄狭山市役所勤務
消防署所属中に阪神淡路大震災で
救援隊員として災害本部に出向
被災地で支援活動に従事

平成7年1月17日発生した阪神淡路大震災から26年、年月とともに記憶が薄れて行くことは止むを得ないとは思いますが、現地で被災者救助に従事したひとりとしては、昨今の日本各地で多発する地震を思うと胸が痛む思いがあります。ひとりの語り部として皆さんに当時の惨状をお伝えすると同時に、防災意識を高める努力をお願いしたいと思います。

新型コロナウイルス感染対策

当日、皆様に安心して参加していただけるよう以下の対策を徹底してまいります。

- ・アルコール消毒液の設置
- ・会場内備品の消毒
- ・換気と広めの席配置
- ・参加者、会場スタッフの検温とマスクの着用

この事業は、埼玉県NPO基金（損保ジャパン代理店JSA中核会の防災・地域安全支援事業）の助成を受けて開催いたします。



事業の成果

コロナ禍のため、人数制限をしての開催であったが多くの申し込みがあり、防災に対する関心が高いことが改めて認識できた。講師も6人招聘し多士済々で防災について多面的に捉え来場者の理解が深まった。



今後に向けて

対面等の安全性が確保できれば防災カフェの開催、さやま市民大学での「地域の防災リーダー養成講座」を開講する。

修了生団体「赤い帽子の会」の設立に向けて取り組む。

今回の活動をホームページやフェイスブックに公開し地元ケーブルTVとも連携し多くの方に周知する。

